

東京大学に「認知症先進予防治療学」社会連携講座を開講

小林製薬株式会社

小林製薬株式会社（本社：大阪市、社長：小林章浩、以下「小林製薬」）と国立大学法人東京大学（総長：五神真、以下「東京大学」）は、7月1日付けで大学院医学系研究科に認知症の予防に関する共同研究を行う社会連携講座「認知症先進予防治療学」を開講いたしました。

認知症の患者数は、高齢化の進展に伴い増加傾向にあり、2025年には730万人（65歳以上の5人に1人）、2060年には1154万人（65歳以上の3人に1人）の方が発症すると予測されており、当社はこの社会問題に対する取り組みを重点課題のひとつとしています。

2016年には記憶力の維持を表示した機能性表示食品『イチョウ葉』を、また本年6月28日には一般用医薬品として生薬「オンジ」を配合した“物忘れ改善薬”『ワスノン』を発売するなど、製品開発を進めております。

現在に至るまで、認知症の発症・予防メカニズムは完全に解明されていません。社会連携講座（協力講座：神経病理学分野（岩坪威^{いわつばたけし}教授））では東京大学と共同研究を実施し、アルツハイマー病をはじめとする認知症の発症メカニズムの解明から予防・治療に繋がる技術開発を行います。今回3年間の社会連携講座における共同研究を通じ、認知症の予防研究の発展に貢献するとともに、認知症予防に関する社会啓発の推進も行います。また、当社内の研究基盤の強化を図り、認知症の予防や治療に繋がる新製品の開発にさらなる注力をしてまいります。

【講座の概要】

- 1) 講座名称：認知症先進予防治療学
(Department of Innovative Dementia Prevention)
- 2) 設置場所：東京大学 大学院医学系研究科
- 3) 設置期間：平成29年7月1日～平成32年6月30日
- 4) 担当教員：橋本唯史^{はしもとただふみ}（特任准教授）、井原涼子（特任助教）
- 5) 協力講座：東京大学 大学院医学系研究科 神経病理学分野（岩坪威教授）

— 本件に関するお問い合わせ先 —

小林製薬株式会社 広報・IRグループ

大阪 TEL 06-6222-0142 東京 TEL 03-5602-9913